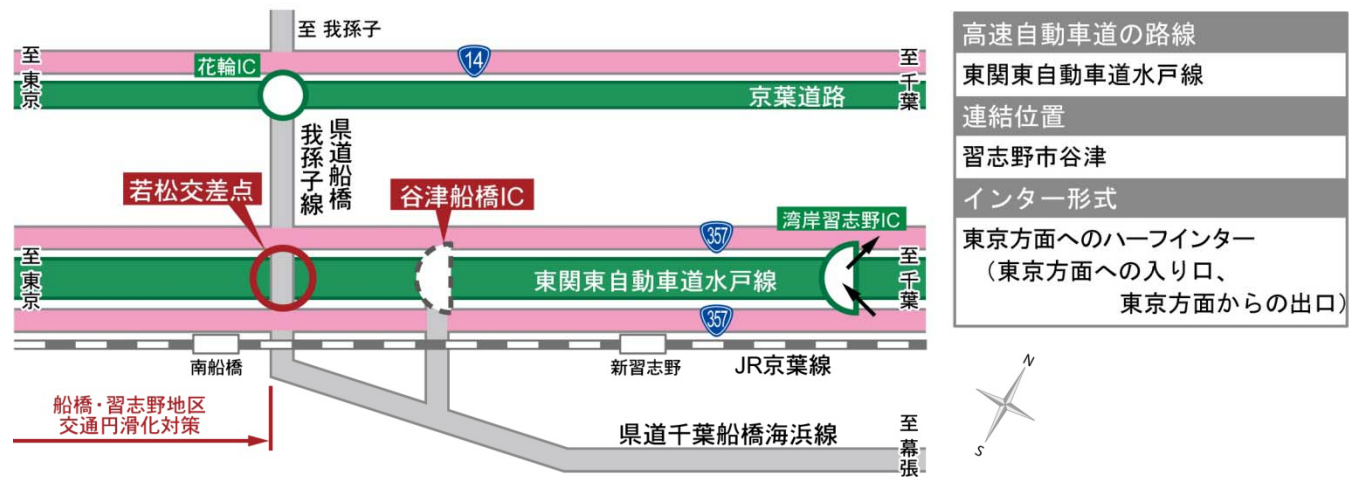


谷津船橋ICの整備を進めています

谷津船橋IC整備の目的

国道357号は約10km/h（船橋市若松1丁目付近、休日の混雑時平均旅行速度）と渋滞が著しいのに対し、並行する東関東自動車道は約80km/h（湾岸市川IC～湾岸習志野IC間、同上）と速度が保たれています。

東京方面への渋滞発生箇所となる若松交差点の手前に谷津船橋ICを整備することで、国道357号から東関東自動車道へ交通が転換し、若松交差点付近の渋滞が緩和することを目的に、H25年の完成を目標に事業を進めています。



整備効果について

■渋滞の緩和と利便性の向上

- 谷津船橋IC整備により、東関東自動車道を代替ルートとして利用できます。
- 若松交差点の改良を行うことにより、円滑な交差点の通過が期待できます。

これらの相乗効果によって、国道357号の渋滞緩和を図ります。

